

こんにちは、古賀市し尿処理施設「海洋木苑」です。

海洋木苑は、市内から発生するし尿や浄化槽汚泥等を安全に適正処理する施設です。

今回の『うつぎえんだより』第三弾は、『古賀市のし尿処理施設の今昔』その2をお話します。

古賀市し尿処理施設の今昔、その2

新しいし尿処理施設建設にむけた取組

これまで使用していた初代し尿処理施設は、1979（S54）年に閉鎖され、その後、古賀町で発生するし尿は、緊急避難的に福岡市に海洋投棄処分を委託することになりました。

海洋投棄処分を委託している間に、新たなし尿処理施設を建設しなければならなかった当時の古賀町は、町内に新施設建設の候補地を選定して、候補地となった地元区民に建設の理解と協力を求めましたが、初代し尿処理施設のマイナスイメージが強く、建設の理解は得られませんでした。さらに候補地を4箇所選定して、それぞれの地元区民に理解と協力を得ようとして説明しましたが、どこからも了承してもらえませんでした。



6ヶ所目へ新施設建設の申入れ

新施設建設のタイムリミットが迫る中、町は、現在の海洋木苑の場所に、新施設を建てさせてほしいと鹿部区に理解と協力の申入れをしました。

次号は「新しいし尿処理施設の建設受入れ」についてお伝えします。

当初、鹿部区の大半の人たちが新施設建設には「反対」の意思表示をしておられましたが、それでも何度も協議を重ねました。当時の古賀町長は、病気で入院していたにもかかわらず、鹿部区の方々に施設建設の理解と協力を得ようと、病院を抜け出してお願いにまわるほど状況は切迫していました。

そんな中鹿部区内では、人権運動をしていた役員の中から、「し尿処理施設」イコール「迷惑施設」と決めつけるのはし尿処理施設に対する偏見ではないか、元来、し尿処理施設は、コレラや赤痢などの（水系）伝染病から私たちを守る大切な施設ではないのか、との意見が出されました。このことをきっかけにし尿処理施設が大切な施設だと気づいた鹿部区の人たちは、さらにさまざまな視点に立つて議論を重ねていきました。



建設工事進捗状況



1月1日

工事進捗率 **28.1%** (9月30日現在)



10月3日

古賀市の次期し尿処理施設 ▶ 古賀市汚泥再生処理センター海洋木苑（仮称）建設工事

タイムラプス 映像放映中11月 10日～11月24日 10:00～20:00

（工事パネル展示&ビデオ放映） 場所：ししぶ交流センター（エントランス）

タイムラプス：工事写真などを連続でつなぎ合わせて動画にしたものです。 毎週火曜日・祝日はお休みです。